

受けよう！がん検診

9月はがん征圧月間です！



がんは昭和56年以来、日本人の死亡原因の第1位です。男性は4人に1人、女性は6人に1人ががんで死亡し、男性は2人に1人、女性は3人に1人が一生のうち何らかのがんと診断されると推計されています。市では、誰もが住み慣れたまちで健康でいきいき暮らせるように、がん検診を実施しています。

問合せ 各保健センター

(中央・☎21・5354 / 菖蒲・☎85・7021 / 栗橋・☎52・5577 / 鷺宮・☎58・8521)

検診による早期発見・早期治療で死亡率低下

近年、がんは診断方法や治療方法の目覚ましい進歩により、早期発見・早期治療を行えば、完治することも可能な病気となってきました。

無症状のまま進行するがんを早期に発見するには、定期的ながん検診を受けることが重要となります。

がんは早期に見つけられれば、決して怖い病気ではありません。「精密検査が必要」と判定されたら、早期にがんを見つけれられるチャンスと捉え、精密検査を受けましょう。



出典 日本対がん協会ホームページ (※)

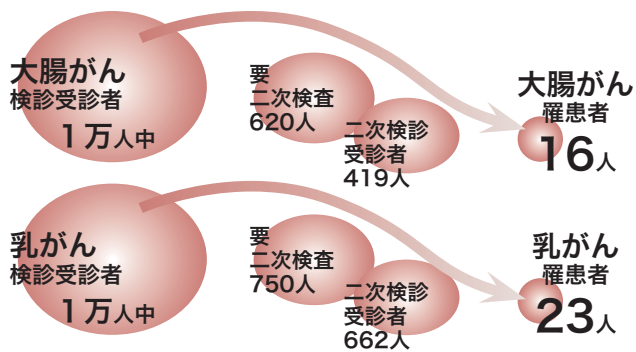
がん検診で「異常あり」と判定されても、必ずしもがんには結びつかない

大腸がん検診、乳がん検診をそれぞれ1万人ずつ受診すると、一次検診で「異常あり」と判定される割合は、大腸がんでは620人、乳がんでは750人となります。

しかし、「異常あり」と判定されても、がんと診断される人の割合は、大腸がん16人、乳がん23人となり、すべての人ががんであったというわけではありません。

怖がらず、まずは、がん検診を受診してみましょ。

二次検診を受ける必要のある人、がんが見つかる人の割合



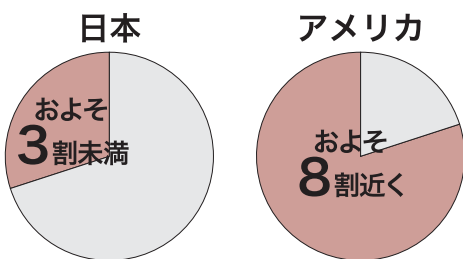
出典 日本対がん協会ホームページ (※)

がん検診受診率の高い欧米では、がんによる死亡率が頭打ち

欧米では、がんによる死亡率が頭打ち、もしくは減少してきています。一方、日本では依然、増加傾向が続いています。

要因のひとつとしてがん検診の受診率の違いがあると言われています。日本のがん検診受診率は、3割に満たない状況です。しかしながら、アメリカの受診率は8割近くにのぼります。

日本とアメリカの検診受診率



出典 日本対がん協会ホームページ (※)

もちろん検診だけでなく、食べ物への配慮や、禁煙への意識を高めるといったことも重要です。

(※)日本対がん協会ホームページ URL: http://www.jcancer.jp/about_cancer/handbook/1mokuteki.html